

令和6年度第1回全史料協大会・研修委員会 会議録（概要）

日 時：令和6年5月29日（水） 13時00分～17時

会 場：徳島県立文書館 2階 講座室

開催方法：ハイブリッド方式（対面＋オンライン）

対面出席者 : 金原委員長・長谷川副委員長
三宮委員・藤委員・蓮沼委員（五十音順）
事務局（嵐・関）

オンライン出席者：新井委員・大月委員・加藤委員・佐藤委員・高村委員・多田委員・
西向委員・松野委員（五十音順）
：西木氏（会長事務局）

欠席者なし

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 第25期・令和6年度委員会体制について

- ・新たな委員の加入があったため、全員の自己紹介を行った。

4. 報告事項

(1)令和5年度第4回委員会における協議内容の確認

(2)令和5年度事業・決算報告について

- ・(1)、(2)ともに承認された。

5. 協議事項

(1)令和6年度事業計画・予算案について

- ・「大会資料」は冊子の形を取らずpdfでの提供となるが、企業の広告掲載は募集する。募集時にpdfデータへの掲載であることを明記する必要を確認した。
- ・予算について、7月開催予定の第2回大会・研修委員会および各会場視察参加の際に必要なタクシー代の計上、また大会2日目の座談会の登壇者が多いため、旅費の見直しが必要ではないかとの指摘があり、事務局内で協議することを確認した。

(2)第50回全国(仙台)大会について

【事務局より】

- ・大会会場、交流会会場について説明。研修会やポスターセッションなどの開催場所を1つのフロアに集約できたこと、大会前日から会議室を確保できたため、親会の役員会や各委員会会場として提供が可能であることを確認した。
- ・研修会A(施設見学)参加時のバス移動について説明。複数のバス会社から今後見積もりを取ることを報告した。
- ・大会2日目の参加者の昼食時に弁当を提供するか、周辺の飲食店でとってもらうかを決め、弁当を提供する場合は会場内に食べる場所が確保できるかの確認が必要であることの指摘があった。
- ・大会参加者の中から、事前に大会運営ボランティアを募ることを確認した。
- ・7月開催予定の第2回大会・研修委員会について、複数の委員から各会場視察の時間帯の確認や変更希望があり、事務局から会場へ提案することを確認した。

【長谷川副委員長より】

- ・研修会、研究会等の登壇候補者への交渉状況について説明があり、前年度の第4回大会・研修委員会で示された案の修正も示された。いくつか委員より質問もあったが、人選に対する反対意見はなく、内容の精査を伴う交渉を継続することを確認した。

【蓮沼委員より】

- ・大会テーマの案として「広がる市町村アーカイブズの多様なカタチ」が提示された。
- ・趣旨説明の内容を「導入」・「今大会の意義(50回大会であり、準備段階を含めた50年目の大会であること)」・「大会テーマ研究会の概要」・「まとめ」の4つのパートから構成する案が示された。

【その他】

- ・三宮委員より、参加することでメリットを感じる大会にするべく、何かしらの仕掛けや試みが必要ではないかとの意見が出された。大会に向けての新たな課題として検討・協議することを確認した。
- ・佐藤委員より、東北地方は全史料協の会員が少ないという現状があり、大会開催の広報をどのように行うかとの問題提起が出された。それに対し、県から各市町村への伝達、マスコミ・メディアの活用、県の博物館協会や図書館協会への働きかけ、公文書管理担当者への連絡などの可能性を検討することを確認した。
- ・登壇候補者の要望により、全史料協の高崎倉庫に収蔵している資料の確認が必要なため、会長事務局の西木氏に協力を要請した。
- ・後援団体については、宮城県や仙台市、東北大学等の関係者と協議することを確認した。

6. 閉会